

研究に関するお知らせ

(研究課題名：COVID-19に関する環境中の汚染状況調査と感染要因を明らかにするための疫学調査)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院国際感染症センターでは、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんので、ご安心ください。

■研究目的・方法

2019年12月から中国の武漢市で新型コロナウイルスによる肺炎の集団発生が確認されました。その後の流行拡大に伴い、日本政府が武漢市から日本に帰国するためのチャーター便を手配し、2020年2月4日時点で600名近くの日本人が帰国しました。帰国された方の中でCOVID-19の感染が発生していることが明らかになり、さらに現在は渡航歴のない国内での感染例も報告されています。このような状況の中、本邦でも今後COVID-19の感染の拡大が懸念されています。

本研究ではCOVID-19の感染拡大に寄与する因子として懸念される、環境中の汚染状況や感染の発症に関連する疫学的要因を調査することを目的としています。

■研究期間

理事長承認日～西暦2021年9月1日

■研究の対象となる方

・環境調査について：

2020年1月以降に国立国際医療研究センターを受診された方で、COVID-19感染症と診断され入院された方。

・疫学調査について：

2020年1月以降に国立国際医療研究センターを受診された方で、COVID-19の疑似症サーベイランスを満了し、入院対象となった方。

上記には2020年1月以降にチャーター便によって日本に帰国した方（国立国際医療研究センターで帰国者検診を受けた方及びその後他の医療機関に転院された方）を含みます。

■ご協力頂く内容

・環境調査では上記の対象期間中に記録された方の病室で、大気中の検体や環境中の検体を収集させていただきます。検体の採取にはエアサンプラーや専用の綿スワブを用います。

・疫学調査では上記の対象期間中に対象となった方の、診療上必要な収集された情報をもとに、発症に関連する因子を解析します。

■外部への試料・情報の提供

研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。匿名化対応表は、国立研究開発法人国立国際医療研究センターでは当センターの個人情報管理者が保管・管理します。また環境調査で収集した検体使用に際しては、厚生労働省が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■研究組織

研究代表： 国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国際感染症センター 森岡 慎一郎

■利益相反について

利益相反の状況については NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。また、未成年者や認知機能が低下された方に関しましては、代諾者の方からの研究不参加の申し出やご相談などに対応させていただきます。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■当院の研究責任者・本研究全体の研究代表者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国際感染症センター 森岡 慎一郎

■お問い合わせ先

東京都新宿区戸山1-21-1 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
国際感染症センター 森岡 慎一郎
03-3202-7181(代表) (月～金 8:30～17:15)